



コミュニティ・スクールの 在り方を考える

日時：平成22年10月12日（火）

9時30分～12時30分

場所：学術総合センター



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



コミュニティ・スクールを設置している教育委員会の教育長等33名が熟議に参加

鈴木副大臣と金子教授の対談

「コミュニティ・スクールの取組を通じて、新しい公共型学校を考える」



熟議の進め方について

コミュニティ・スクールの在り方を考える「熟議」について

※「熟議」=多くの当事者による熟慮と討議を重ねながら政策を形成していくこと

<熟議の進め方>

第1ラウンド

●課題を出し合い、共有化する場

(1) 自己紹介 (1人1分程度)

(2) 討議

① ピンク色の付箋紙に課題を記入 (5分程度)

※1枚に課題を1件記入

※1人複数枚作成可能

② 順に付箋紙を模造紙に貼りながら発表

③ ファシリテーターが課題を整理



第2ラウンド

●課題解決策を出し合い、意見交換する場

① 課題に対する解決策を青色の付箋紙に記入 (5分程度)

※「課題に対して、自分はこうした、みんなでこうしたしよう。」といった具体的な内容を記入

② 順に付箋紙を模造紙に貼りながら発表

③ ファシリテーターが解決策を整理し、発表 内容を確認

④ 発表者を決定



グループ発表

●各グループの討議結果を共有する場

・各発表者が討議結果を発表

※各グループ5分以内



熟議スタート



第1ラウンド 課題を出し合い共有化



第2ラウンド 課題解決策を出し合う



グループごとに発表



グループごとに発表

